

1994年日食は「イグアスの滝」で

木村 精二

1994年11月3日、西太平洋上で始まり、ペルーから南米大陸を横断して大西洋に抜ける皆既日食のことは、すでに御承知と思います。4分20秒ほどの最大継続時間の皆既日食は大西洋上で起こり、陸地では、ブラジルの東海岸ポルトアレグレ市の数十キロ北で継続時間ちょうど4分の黒い太陽が見られましょう。そこから北西方に内陸を数百キロ入ると、パラグアイ及びアルゼンチンの両国と境を接する近辺にイグアスの滝（註）があり、この世界的な名所も皆既帯に覆われて、3分を越す皆既食が観測できるはずで

す。1991年7月の皆既日食を機会に、メキシコのラパスで「アマチュア天文研究シンポジウム」(Symposium for Research Amateur Astronomy)を組織したウェストフォールさん Ms.E.Westfall から届いた手紙を、次に紹介します。

"...The Corporation for Research Amateur Astronomy is planning another small Symposium to be held at Iguazu Falls November 1-3, 1994. Once again, the Symposium provides an opportunity to meet other astronomers, present astronomical research papers, and view the eclipse from a spectacular, low-elevation location. If you would like more information, please contact us..."

これに対する筆者の返事も、ついでにお知らせしておきましょう。

"...How nice to learn that your Corporation is planning another Symposium at Iguazu Falls in 1994. Very rare opportunity to meet many colleagues as well as to observe another total eclipse of the Sun from a spectacular place. I myself would like to read a paper on the activities of Japanese amateur astronomers. We should be very much obliged if you keep informed us of any information on your plan including application procedures for air and accommodation. We are looking forward to meeting you again in early November the year after next, this time in South America..."

どなたか日食観測に関して、上記のシンポジウムで発表しませんか。今後、詳しい情報が届いたときに、入手御希望のかたも、予め、筆者あてに御一報いただければ幸いです。一昨年メキシコ日食で、筆者を含め6人の同行者が、同組織から斡旋を受けたホテル・クーポンと航空券の価格等については「日食情報」1991年 No.3, P.17 を参照願います。

<イグアスの滝 Foz do Iguazu > 幅5キロ、最高落差 100メートルを越え、大小 300もの滝が流れ落ち、世界3大瀑布のひとつ。先住民インディオの言葉で「壮大な水」の意味。サンパウロから空路1時間半、フォス・ド・イグアス市の東27キロ（空港からは20キロ足らず）、広大なイグアス国立公園の中、イグアス川が直角に流れを変える所にある。ブラジルよりはアルゼンチン側からの方が絶景といわれる。滝壺の奥に「悪魔の喉仏」Garganta del Diablo。へりに乗っての観光は最高とか。滝の周辺は昼なお暗い大原始林におおわれ、蝶などの昆虫、ラン科の草花の種類が多く、世界的に有名。西40キロにあるイタイプー発電所Usina Hidrelétrica de Itaipuは、ブラジルとパラグアイの国境を流れるパラナ河に建設された両国の共同事業で、世界最大の出力を持つ水力発電所である。